【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公開番号】特開2019-48721(P2019-48721A)
【公開日】平成31年3月28日(2019.3.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-012
【出願番号】特願2018-208972(P2018-208972)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　37/04　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
Ｂ４２Ｂ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　37/04　Ｚ
Ｇ０３Ｇ　15/00　４３２
Ｂ４２Ｂ　5/00

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月22日(2019.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の凸部を有しシート束を綴じる綴じ手段を備え、
綴じ手段の複数の凸部で形成される複数の圧着痕は、各々が縦長形状であり、各圧着痕の長辺は、隣接する圧着痕の長辺との間に所定間隔を設けて形成されるとともに、各圧着痕の短辺は、前記シート束の一辺と所定角度をなして直線上に形成されており、
隣接する前記複数の圧着痕のまとまりからなる圧着痕群が、複数形成されており、当該複数の圧着痕群は、配列方向が前記シート束の一辺と前記所定角度をなすように、所定間隔を隔てて直線上に形成されており、
前記綴じ手段の１回の綴じ動作で隣接する前記圧着痕群の距離が、隣接する前記圧着痕間の距離よりも長くなるように前記複数の圧着痕群が同時に形成されることを特徴とするシート処理装置。
【請求項２】
前記複数の圧着痕群の配列方向と前記シート束の一辺とのなす角は、３０度から６０度であることを特徴とする請求項１に記載のシート処理装置。
【請求項３】
シート束の一方の辺に平行な第一の仮想線をシート上に引いたとき、前記第一の仮想線は、前記複数の圧着痕のうち少なくとも２つの圧着痕に対して接点を有し、かつ、
前記一方の辺に直交するシート束の他方の辺に平行な第二の仮想線をシート上に引いたとき、前記第二の仮想線は、前記複数の圧着痕のうち少なくとも２つの圧着痕に対して接点を有するように、前記複数の圧着痕が所定の間隔を設けて形成されることを特徴とする請求項１又は２に記載のシート処理装置。
【請求項４】
前記複数の圧着痕の並ぶ方向に第三の仮想線をシート上に引いたとき、前記第三の仮想線は、前記複数の圧着痕のすべてに対して接点を有するように前記複数の圧着痕が所定の間隔を設けて形成されることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか一項に記載のシート

処理装置。
【請求項５】
前記綴じ手段は、前記複数の凸部を有する一方の歯部と、該一方の歯部に噛み合う複数の凹部を備えた他方の歯部からなる歯型部を少なくとも一つ有し、前記一方の歯部と前記他方の歯部との間にシート束を挟むことにより、前記複数の圧着痕群を形成することを特徴とする請求項１乃至４のいずれか一項に記載のシート処理装置。
【請求項６】
前記綴じ手段は、前記歯型部を複数備えたことを特徴とする請求項５記載のシート処理装置。
【請求項７】
前記複数の歯型部を構成する前記複数の一方の歯部、及び前記複数の他方の歯部を、それぞれ別個に同一部材に設けたことを特徴とする請求項６に記載のシート処理装置。
【請求項８】
複数のシートを集積する集積手段を備え、
前記綴じ手段は、前記集積手段に集積されたシート束を綴じることを特徴とする請求項１乃至７のいずれか一項に記載のシート処理装置。
【請求項９】
請求項１乃至８のいずれか一項に記載のシート処理装置を備えることを特徴とする画像形成システム。
【請求項１０】
請求項１乃至８のいずれか一項に記載のシート処理装置を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
前記課題を解決するため、本発明は、シート処理装置に係るものであって、複数の凸部を有しシート束を綴じる綴じ手段を備え、綴じ手段の複数の凸部で形成される複数の圧着痕は、各々が縦長形状であり、各圧着痕の長辺は、隣接する圧着痕の長辺との間に所定間隔を設けて形成されるとともに、各圧着痕の短辺は、前記シート束の一辺と所定角度をなして直線上に形成されており、隣接する前記複数の圧着痕のまとまりからなる圧着痕群が、複数形成されており、当該複数の圧着痕群は、配列方向が前記シート束の一辺と前記所定角度をなすように、所定間隔を隔てて直線上に形成されており、前記綴じ手段の１回の綴じ動作で隣接する前記圧着痕群の距離が、隣接する前記圧着痕間の距離よりも長くなるように前記複数の圧着痕群が同時に形成されることを特徴とする。なお、前記以外の課題、構成及び効果は、以下の実施形態の説明によって明らかにされる。